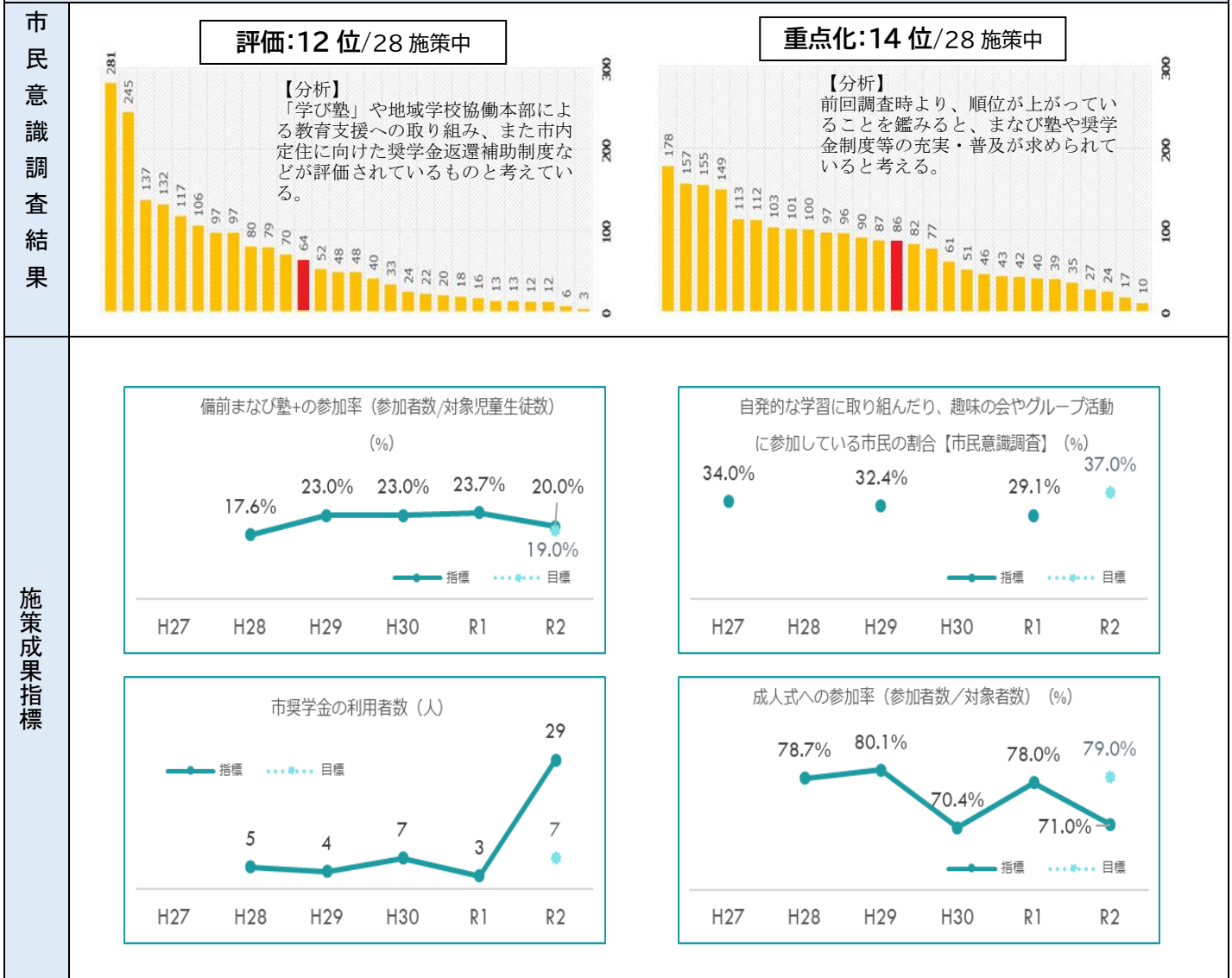


⑤ 生涯学習の機会充実 <<評価：64.0点>>



成果指標の妥当性

評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		1	2	2		2	2
市民委員意見	成果指標の設定は妥当か	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習を幅広く展開するなかで、特定の事業に関する指標で評価することは妥当ではないのではないか。 生涯を通じた学習である以上、年代も幅広く評価していくことが必要。 参加率ありきの目標に見える。 中心的な施策の指標であるため、妥当。 					
	目標値の設定は妥当か	<ul style="list-style-type: none"> 備前まなび塾+の目標は20% (5人に1人) が妥当か。 目標値が低いのではないかと 					

事業構成の適当性							
評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	2		3	3
市民委員意見	事業は施策の成果を上げるのに適しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、図書館などとの連携もあり、良いと思う。 ・できることは実施しているのではないか。 					
施策の有効性							
評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		2	3	3		3	2
市民委員意見	目標値の設定は妥当か	特に意見なし					
	指標分析は妥当か	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを支援することだけを指標として分析することが妥当なのか疑問。 					
進行年度の取組							
評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	2		3	3
市民委員意見	課題を把握しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・把握されていると思う。 					
	課題解決に向けての取組は妥当か	<ul style="list-style-type: none"> ・方向は良いと思う。 					
翌年度の取組							
評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		2	3	3		3	3
市民委員意見	今後の取組は総合計画の目標とする姿に向かっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成＝生涯学習となるのかどうか疑問。 					
	取組は市民ニーズをとらえているか	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生だっぴ」、「備前まなび塾+」が市民ニーズを捉えているか疑問。 ・ニーズの変化を認識している。 					

市民委員から見た課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民に参加いただけるよう、PRにも力を入れるべき。 ・様々な事業を展開しているが、知っている市民が少ない。公民館には多くのグループ活動、講座等の情報があるので、足を向かせる仕掛けが必要ではないか。 ・講座等への参加者が固定化している。参加しない市民をどう取り込んでいくのか。 ・備前まなび塾+は小中学生が対象であるが、高校生、大学生、社会人、またそれらをリタイヤした方など、流れを意識した支援策（学習機会の担保）についての検討が必要ではないか。 	

長期的に取り組むべき課題

- ・「いくつになってもオープンに学べる場所がある」というような市のイメージがあれば良いと思う。
- ・学習のオンライン化。
- ・生涯学習は継続することが大切。学習者にステップアップ（喜び）を実感いただける評価のシステムがあれば良い。
- ・備前市の生涯学習プログラムを進めていった先に、どんな明るい未来が待っているか（自身の未来の姿）というイメージを示す。

委員会後の担当課対応

- 生涯学習を幅広く展開するなかで、特定の事業に関する指標で評価することは妥当ではないのではないか。
⇒「まなび塾+の参加率」及び「成人式への参加率」は対象者が限定的であり、対象人数以上の事業効果は望めないため、まなび塾+については地域ボランティアの参加数などを含めた指標への変更、また成人式の参加率については、施策効果の把握が期待できる指標への変更を検討する。
- 講座等への参加者が固定化している。参加しない市民をどう取り込んでいくのか。
⇒年代別のニーズを調査し、実施する講座内容及びそれぞれの年代に合った広報活動についても検討していく。